



本物と見間違ふほどの粘土作品が展示されています

「ほんものそっくり！粘土アート展」早池峰の里の自然が7月19日、総合文化センターで始まりました。会場には、花や山野草、果物などの粘土作品約500点を展示。製作者の高橋竜子さんが「命を削って作っている」という作品は、細部にまでこだわり、本物と見間違ふほどです。来場した皆さんは、作品の素晴らしさ、出来栄に感心していました。同展は9月28日まで開催。同会場では、勾玉作りなどが体験できる「文化財センターで遊ぼう」も8月23日まで行われています。

まるで本物粘土アート



夏越の大祓いで無病息災などを願ひ茅の輪をくぐる皆さん

茅の輪くぐり無病息災願う 本市内の鳥谷崎神社で7月17日、夏の風物詩「夏越の大祓い」が行われました。同行事は、6月までの半年間の罪や汚れをはらい清め、夏の暑さを元気に乗り切ろうとする神事。神社関係者や地元住民などは、カヤで作られた直径約3m、太さ約20cmの輪を3度くぐり抜け、無病息災などを願いました。また会場には、屋台がずらりと並んだほか、円万寺神楽の奉納などもあり、多くの家族連れなどが来場。思い思いに楽しいひとときを過ごしていました。

茅の輪くぐり無病息災願う



緑色に光ったボタンを両手で押し、自分の俊敏性を確かめる参加者の皆さん

交通安全体験通して再確認 「高齢者のための体験型交通安全講習」が7月22日、八重畑振興センターで行われました。高齢者の交通事故をなくそうと開催した同講習には、本市の交通安全推進モデル地区となっている八重畑地区から20人が参加。自動車が行き交う道路の横断を体験できる歩行システムや自動車の運転シミュレーター、俊敏性を測定する機器、視野診断などを使い、交通事故に遭わないための注意事項を体を動かしながら再確認していました。

交通安全体験通して再確認



どちらが強い？特設リング内で対戦するカブトムシを見守る子どもたち

東和町町井にある「カブトムシふれあい童夢(ドーム)」が7月6日、今季のオープンを迎え、初日から大勢の家族連れなどでにぎわいました。たくさん元気なカブトムシが放たれた園内には、カブトムシをキュウリで釣り上げるコーナーや対戦させる小さな特設リングなどを設置。子どもたちは目を輝かせながら、カブトムシとの触れ合いを満喫していました。ことは8月10日までの土日・祝日に開催する予定です。

カブトムシとの触れ合い満喫



全国大会での健闘を誓った、農武館の少年剣士たち

少年剣士全国舞台へ 「第49回全国道場少年剣道大会」に県代表として出場する農武館の監督選手たちが7月22日、市役所を訪れました。同館は、6月7日に開催された「第29回岩手県道場少年剣道大会」に4チームで出場し、そのうちの1チームが優勝。そのほか、2チームもベスト8に入り、全国大会への切符を獲得しました。個人戦の部でも優勝した継枝愛美さん(桜台小6年)は「得意技の合い面で全国大会も勝っていきたい」と笑顔を見せながら意気込みを語りました。

少年剣士全国舞台へ



ジュニアサッカーキャンプ初日のリーグ戦で、ボールを奪い合う選手たち

懸命なプレーで交流深める 「2014はなまきジュニアサッカーキャンプ」が7月20日・21日の両日、太田のスポーツキャンプむらで開催されました。ジュニア期の技術向上と選手との交流などを目的に花巻市サッカー協会が主催。スポーツ少年団に所属する市内の小学6年生の混成6チームのほか、市外・県外から10チームが参加し、勝敗を競いました。選手たちは、チームメイトや保護者の声援を力に変え必死にプレー。攻撃、守備それぞれの役割を果たそうと最後まで元気にフィールドを駆け回っていました。

懸命なプレーで交流深める